

講演会

伝えたい、脳卒中と その後遺症

当事者になった脳卒中リハビリ
専門家の物語

日時：11月8日(木)午後6時半～8時

場所：西神戸YMCA Tel. 078-793-7402

地下鉄西神中央線学園都市駅下車3分



講師：関 啓子

- ・言語聴覚士、医学博士、
- ・専門は神経心理学、元神戸大学教授
- ・三鷹高次脳機能障害研究所所長
- ・相談業務の傍ら、研究・教育・講演活動を全国各地で展開

入場無料

主催：神戸学園都市ワイズメンズクラブ

関 啓子先生のご紹介

三鷹高次脳機能障害研究所所長。

言語聴覚士。医学博士。専門は神経心理学。

首都大学東京大学院人間健康科学研究科、上智大学国際言語情報研究センター、国立障害者リハビリテーションセンター学院言語聴覚学科ほか非常勤講師。略歴詳細はウィキペディア関 啓子（言語聴覚士）に掲載

1982 年 国立障害者リハビリテーションセンター学院聴能言語専門職員養成課程卒業。

1982 年 東京都神経科学総合研究所(当時)リハビリテーション研究部門。

1983 年 中村記念病院（札幌市）言語室。

1989 年 東京都神経科学総合研究所リハビリテーション研究部門。

1995 年 東邦大学大学院医学研究科から医学博士号授与（主査：岩村吉晃教授）

1999 年 神戸大学医学部助教授。第 1 回言語聴覚士国家試験合格。

2002 年 同大学医学部教授。

2008 年 同大学大学院保健学研究科教授。

2009 年 7 月 脳梗塞発症。

2010 年 5 月 現職復帰。

2011 年 3 月 同大退職。同大学客員教授。

2013 年 4 月 「三鷹高次脳機能障害研究所」開設

現在の活動

上記研究所での相談業務の傍ら，研究・教育・講演活動を全国各地で展開。

所属団体

日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会理事、人間情報学会理事，日本高次脳機能障害学会代議員，日本リハビリテーション・カウンセリング研究会顧問，日本リハビリテーション医学会正会員，日本言語聴覚士学会正会員。

主な著書

「失語症を解く 言語聴覚士が語ることばと脳の不思議」人文書院，2003

『話せない』と言えるまで 言語聴覚士を襲った高次脳機能障害」医学書院，2013

「まさか，この私が 脳卒中からの生還」教文館，2014 ほか，教科書・論文等多数

特記事項

WAB 失語症検査日本語版，BIT 行動性無視検査日本版作製委員として各検査法の標準化・出版に関与。

賞罰

2014 年 3 月 30 日 DAY 賞 (Distinguished Alumni of the Year Award, 年間優秀同窓生賞) 2014 from ICU 同窓会

以上、